

2019/08/26

日本 NPO 学会広報委員会向けメモ

武蔵大学 粉川一郎

すぐに実現すべきこと

・ Facebook アカウント開設

学会のオフィシャルな情報発信の場として。公式サイトの新着情報と同レベル。

できることなら月に 1 件くらいは何らかの情報が出せることが望ましい。

・ Twitter アカウント開設

情報拡散用。Facebook や公式サイト、Instagram のアップデートの告知。

・ Instagram アカウント開設

これまでと違った層（学部生、院生、一般の若年 NPO 関係者）へリーチするためのツール。少し碎けて、バズればラッキー、というスタンス。

→アカウント管理体制の確立が必要。誰が、どれだけのペースで情報を発信するか。

短期に実現すべきこと

・ フォロワー数確保キャンペーンの実施

理事から余っている著書を集め、RT による書籍プレゼントキャンペーンを行う。10 人から 10 冊ずつ、合計 100 冊程度のプレゼントキャンペーンが実施できないだろうか。

→書籍プレゼント発送用の予算確保が必要。

・ 集中的な RT、いいねキャンペーンの実施

Twitter では NPO 関係、ソーシャルビジネス関係の情報を集中的に RT。期間を限定（1 か月から 3 か月）し、フォローしてほしいアカウントを狙い撃ちして RT（フォローはしない）。Instagram では、NPO やボランティア、ソーシャルビジネス関係の情報に関心がありそうな投稿へのいいね、およびフォロー（こちらはフォローする）。こちらも期間限定し、集中的に。

中期に実現すべきこと

・ ニュースレター代替サービスの検討

ソーシャルメディア時代にニュースレターをどのような形で発行すべきか。あるいは発行する必要はないのか。総合的な検討を実施する

・ 研究者紹介サービスの実施

既存マスメディア、およびネットメディア向けに NPO やボランティア、ソーシャルセク

ターに関する話題についてコメントできる研究者、識者を紹介する。学会員から同意をとり、どのようなテーマについてコメントできるかを登録してもらい、メディアからの照会を受けた際に、情報提供する。

一方で、大学の広報向けに、日本 NPO 学会ではこのようなサービスを行っているので、その旨を学内で教員向けに告知してもらいたい旨、依頼状を送付。

長期的に実現すること

- ・日本 NPO 学会としての時事問題へのコメント、政策提言活動の実施

リアルタイムで、学会として時事問題へのコメントを提示。また、政策提言を定期的に実施（1 年に一度やれたらすごい）

→学会公式見解になるので、合意形成の在り方について議論が必要。

- ・ソーシャルセクターに関するバズるニュースサイトの運営

（粉川としてはニューズレターの代替はこれだと思う）

ポジションとしては週刊ダイヤモンドや東洋経済、弁護士ニューズドットコムのように。ソーシャルセクターに特化した記事を毎日掲載。既存のニューズレターの特集記事や連載、書評などもここに入れる。一定程度のページビューが稼げれば、広告収入が学会運営に寄与する可能性。